

【報告事項に対する質問（危機管理防災部関係）】

井上委員

- 1 地域防災計画の雪害対策について伺う。県民の役割の部分のうち、企業の役割について、どのように位置付けているのか。前回の大雪の時は、建設会社が除雪に大きな役割を果たした。また、台風への備えなどで、ある程度予測ができる場合には、企業の協力を得て休業や早期退社をさせるなど、被害に遭う方を減らせると考えられるがどうか。
- 2 地域防災計画に係る市町村の役割について伺う。前回の大雪の際は、長野県佐久市でツイッターを活用し情報収集、発信を行ったことが取り上げられていた。現在では和光市でも運用している。ツイッター等を活用した情報発信、収集について県はどのように考えているのか。
- 3 新たな埼玉県震災対策行動計画について伺う。防災拠点校について、先日、現地を視察し、取組が進んでいると感じる部分もあるが、一方で、トイレの汚水槽は3日持たばいいくらいの状況に感じた。マンホールトイレについても、上部に載せる覆いがないという状況であった。行動計画において、防災拠点校の充実をどう考えているか。
- 4 両計画に関する県民コメントについて伺う。前回の地域防災計画の改正案に関する意見を見たが、複数の意見が計画に反映されており県民コメントの充実は大切だと思うがどうか。

消防防災課長

- 1 今回の改正においては、事業者の役割として、「県民、企業との協力体制の確立」に位置付けている。「地域コミュニティによる相互支援」にも関わるが、例えば、企業の近隣にある生活道路の除雪等で協力してもらいたいと考えている。
- 2 ツイッターで流れる情報は、正しい情報か誤っている情報なのか判断が難しいが、情報の速報性があり効果的だと考えている。ツイッターによる情報収集、発信について効果や、課題について検討している状況である。

危機管理課長

- 3 防災拠点校は現在、38校を指定している。防災拠点校の充実は重要なことではあるが、新たな行動計画は減災目標の達成を目的としたものであるため、今回の計画には盛り込んでいない。
- 4 ホームページでの広報をはじめ、地域振興センターでの閲覧・配布、県政出前講座の場を借りて広報するなど、あらゆる機会を通じて周知を図っていく。

【報告事項に対する質問（警察本部関係）】

井上委員

- 1 相談受理件数の状況であるが、相談はどういった方法で連絡が入ることが多いのか。
- 2 スライドにある「恋愛のもつれ」とは、どういう状態であるのか。暴力や脅迫が具体的に生じている状態であるのか。

生活安全企画課長

- 1 警察安全相談は、110番、#9110、警察署への来所や電話など様々な方法で受け付けている。

子ども女性安全対策課長

- 2 恋愛感情のもつれに起因する暴力事案の相談とは、ストーカー規制法やDV防止法の対象とならない、その他の恋愛感情のもつれに起因する事案の相談のことである。具体的な相談の内容については様々なケースがあるが、例えば、「同居していない交際中の男女間の暴力事案に関する相談」、あるいは「別れた相手から突然の相談があった」、別れ話がこじれているので今後どうしたらよいか、というようなストーカー・DV事案への移行前の相談も含まれている。

井上委員

警察で、事前の相談ができる態勢を作り、それが周知されていれば、緊急の110番や駆け込み以外でも対応できるのではないかと。人身安全関連事案の相談を受ける際のアクセス方法は分析してあるのか伺いたい。

総務部長

人身安全関連事案の相談を含む、警察へ寄せられる相談全体に対するアクセス方法について、平成25年中、電話での相談が56%、面談が42%、残りはメールやファックス等での相談受理である。

井上委員

110番と#9110個別の件数は把握しているのか伺いたい。#9110があまり使われていないのであれば更に普及させる、あるいは、考え方によってはDVやストーカーの専用ダイヤルを設けるなどの方法も考えられるのではないかと。

生活安全部長

個別の件数については、後ほど確認させていただく。

地域部長

- 1 110番で人身安全関連事案として認知している件数は、本年8月中は約460件強、1日当たり約15件となっている。主に夫婦喧嘩、男女トラブル等で受理している。